



U.S. DEPARTMENT OF HOMELAND SECURITY

## COUNCIL ON COMBATING GENDER-BASED VIOLENCE

# ジェンダーに基づく暴力（GBV）：留学生のための 情報およびリソース

毎年100万人を超える留学生がアメリカ国内の大学に留学しています。言語や文化の違い、またアメリカの法律や手続きを詳しく知らないことによって、「ジェンダーに基づく暴力」（GBV）を経験する留学生に困難をもたらす可能性があります。

ジェンダーに基づく暴力には、学生の健康に悪影響を与える可能性のある身体的、性的、心理的、経済的、感情的な虐待が含まれます。学生にとって、ジェンダーに基づく暴力とは何か、誰が影響を受けるのか、どのように支援を受けられるのかを理解することが重要です。

## ジェンダーに基づく暴力とは？

ジェンダーに基づく暴力とは、性別に基づいて個人またはグループに向けられる、害を及ぼす脅迫や行為のことをいいます。実際のまたは認識されている以下のような背景を問わず誰にでも影響する可能性があります。

- 年齢
- 社会経済的地位
- 在留資格
- 英語学習者状況
- 文化的背景
- 性自認、性表現、性的指向
- 障害
- 人種、民族、国籍、宗教
- その他の背景

加害者は、同僚、権威のある人、家族、知り合い、または見知らぬ人である場合があります。

## ジェンダーに基づく 暴力の例

ジェンダーに基づく暴力には次のようなものがあります。

- 家庭内暴力または交際中の暴力
- 性に基づく嫌がらせ（性暴力を含む）
- ストーカー行為
- インターネット上の嫌がらせや虐待
- 強制的な結婚
- 女性性器切除（FGM/C）
- 人身取引

## 「ジェンダーに基づく暴力」について詳しく知り、助けを求める方法を学ぶ

国土安全保障省の「ジェンダーに基づく暴力対策委員会」と教育省の高等教育局は、ジェンダーに基づく暴力を目撃または経験した人の権利と、学校および法執行機関の責任について知らせるためのオンラインリソースを作成しました。QRコードをスキャンし、次のことを行いましょう。

- ジェンダーに基づく暴力について学ぶ
- 米国の大学に通っているときにジェンダーに基づく暴力を目撃または経験した場合の対処方法（報告する方法など）を知る
- ジェンダーに基づく暴力を経験した場合に利用できる在留資格に関する選択肢について理解する



詳しい情報については以下の  
サイトをご覧ください

[dhs.gov/gbv-student-toolkit](https://dhs.gov/gbv-student-toolkit)